

# 特集 あなたの視点はどこにある？ 男性に知ってほしい男女共同参画とダイバーシティ

熊本市男女共同参画センターはあもにいでは2019年の8、9、10月、「はあもにいメンズカレッジ」として、主に企業の人事や経営企画担当者を対象に、「男性に知ってほしい男女共同参画とダイバーシティ」と題した3回連続講座を実施しました。途中にワークショップなどを交えた講座の概要を紹介します。



## 第1回 実施日 2019/8/20 男女共同参画の基礎知識 ～いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか？～

講師：熊本大学法学部教授 鈴木桂樹さん

●プロフィール／1955年福井県生まれ。87年に熊本大学赴任。96年より現職。2019年より学部長。専門は政治学。くまもと市男女共同参画会議会長、益城町復興計画策定委員会会長などを務める。共著に、『比較安全保障』（成文堂）、『ジェンダーと政治過程』（木鐸社）、『現代イタリアの社会保障』（旬報社）など。

### はじめに

## 「21世紀、日本はどうするのか？」 戦略の一つが、男女共同参画

男女共同参画政策を国レベルで担当する部局は、内閣府というところにあります。内閣府は2001年の1月6日にできました。なぜ新しい役所を作ったか。この時、中央省庁再編がありました。21世紀を迎えるにあたって「この日本、どうやっていくのか？」を考え、それに対応する体制を中央省庁として取ろうというのが再編の趣旨です。そして21世紀に何が重要かといえば、全体を見渡して政策調整し、戦略を考えていくことが大事だと考えたのです。ですから企画調整機能の強化が、このときの中央省庁再編の一つの狙い。そこでできたのが内閣府です。

内閣府には当初、4つの戦略会議が設けられました。1つは、小泉政権のときに有名になる「経済財政諮問会議」。また、21世紀の日本は科学技術で勝負するとして「総合科学技術会議」。さらに災害の多い日本ですから「中央防災会議」。そしてもう1つが「男女共同参画会議」です。

何が言いたいのか。「男女共同参画？ ああ男女平

等、大事ですよ」という理解はそれなりに深まっている。けれども、中央省庁の組織的な位置付けで、他省庁よりも一段上の、全体を見渡して企画調整する内閣府の中の4つしかない戦略会議の中の一つが男女共同参画会議だったということ。つまり、単なる男女平等や女性政策の延長線上ではこんな高い位置付けはされない。じゃあなぜ高い位置付けがされたのか、をお話しします。

### 1. 男女共同参画社会という発想

## 社会や文化が変われば変わる 「男らしさ」「女らしさ」

男女の違いは2つのレベルで区別されます。1つは生物学的、生理学的な違いです。ところがわれわれが日常会話で、「男と女違うね」「やっぱり男(女)の子だね」と会話をする場合、常にこの生物学的な違いを念頭に会話しているかというところでもなかりうということ。もう1つのレベルとして社会的文化的歴史的に作られてきた性差、あるいは男らしさや女らしさの考え方の違い、これを指す言葉として「ジェンダー」を使っています。

### 発行に寄せて

私たちは「女性が社会で力を発揮できるように」と、女性の就業・創業支援やキャリアアップ支援などさまざまな講座を行っています。講座を修了し、スキルや自信を付けて羽ばたく姿を見るのは、何よりの喜びです。

ところが、どんなに彼女らが意欲と力を持って、受け入れる企業の考え方や体制が男性中心のままでは、その気持ちや力はしぼんでしまいかねません。「制度や環境を整えた」と胸を張る企業でも、ずっと同じ環境にいる男性には気付かない“空気”のようなものが漂ってはいないでしょうか。

2019年6月に総務省が発表した日本の就業者総数は6747万人。女性の就業者数は前年同月比53万人増の3003万人となり、初めて3千万人を超えました。正規・非正規の問題はあるにしろ、女性の就業者が44.5%を占めています。

非婚者やひとり親の増加など、この数字には単純ではない背景が感じられますが、人口が減少する日本で、働き手として「女性」が期待されていることが大きな要因であることは間違いありません。

女性が働き、活躍することが求められているのに、一方でそれを阻害する要因があるとしたら…。そしてその一つが、人の心や雰囲気によるものとしたら…。私たちは女性をエンパワーメントするだけでなく、その“空気”を変えることにも力を注ぎたいと思います。

「GEジャーナル」創刊号では、そのための取り組みの環境として19年度に始めた「はあもにいメンズカレッジ」の講座を紹介します。

2020(令和2)年3月  
熊本市男女共同参画センターはあもにい  
館長 坂本ミオ

### CONTENTS

①

発行に寄せて

②

男女共同参画の基礎知識

～いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか？～

⑧

加害者も被害者もつくらない!

～セクハラ・マタハラ・パワハラを学ぶ～

⑪

多様性を認め合う社会

～LGBT(セクシュアルマイノリティ)の基礎知識～



GEジャーナルとは

熊本市男女共同参画センターはあもにいから実施する講座やイベントなどの紹介を通して、SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の中の5. ジェンダー平等を実現しよう / GENDER EQUALITY 推進を図る情報誌です。